

		事業名	目的・概要	評価項目(含、事業カルテ指標)	目標値	実績 (9月末時点)	前年度実績	前年比	補足説明・影響因子等	次年度目標
介護予防・日常生活支援総合事業	一般介護予防事業	TFPP	プレフレイル(虚弱)段階の高齢者を早期に発見し、介護予防活動につなげることで、健康増進、介護予防を推進する。気づきから行動変容までを目的として、2段階の質問項目と4項目の測定により、身体の虚弱、低栄養、認知症、口腔機能、社会参加等のリスクを判定できる。楽しく日常生活に取り入れられる体験プロジェクトも実施。大学、介護予防リーダー等の市民が取り組める事業	①全実施回数	30回	13回	28回		<ul style="list-style-type: none"> ・小規模：市民への周知が十分ではない。コミセンとの連携が十分ではない。(チラシ配布前に確認するなど必要) ・大規模：台風の影響などにより参加者が少なかった。(想定半分) ・昨年度はバリエーション多摩で159人の参加があったが、今年は長寿を共に祝う会が開催されなかったこともあり昨年度実績と大きな差が生じた。 ・民間の商業施設での開催 ・サービス付高齢者住宅での開催の検討 ・今後フォロー体制の見直しをする。(包括につなげた参加者のその後について市も把握できるよう包括から情報を得る) 	30
				小規模	15回	6回	13回			15回
				中規模	12回	6回	12回			12回
				大規模	3回	1回	3回			3回
				②年間のべ参加者数		277人	724人			
	うんどう教室	運動を習慣化することにより、市民の介護予防を図ることを目的として実施。乞田・貝取ふれあい広場公園、豊ヶ丘南公園に設置された運動遊具を活用した運動教室をそれぞれ月1回開催。 (健康推進課で実施していた「豊ヶ丘南公園のうんどう教室」を平成28年度から高齢支援課の「乞田・貝取ふれあい広場公園のうんどう教室」と統合)	①実施回数	24回	12回	23回		<ul style="list-style-type: none"> ・乞田貝取ふれあい広場公園 参加者実数：31人 延べ参加者数：145人 ・豊ヶ丘南公園 参加者実数：36人 延べ参加者数：157人 ※いずれも指導員含む	24回	
			②参加者実数	なし	67人	94人			--	
			③のべ参加者数	なし	302人	587人			--	
	地域介護予防教室	介護予防リーダーが中核となって地域住民と開催する地域介護予防教室で介護予防元気アップ体操を実施。市は、運営費の補助とリハビリテーション専門職を派遣し支援を行う。	①教室数	16か所	14か所	13か所		<ul style="list-style-type: none"> ・2か所の教室が9月分未掲載 	18か所	
			②実施回数	各教室 月4回	317回	595回			各教室 月4回	
			③参加者実数	なし	876人	1,014人			なし	
			③のべ参加者数	なし	9,523人	20,083人			なし	
	介護予防ボランティアポイント	高齢者のボランティア活動実績を「ポイント」として評価することにより、介護予防を促進し、もって元気な高齢者が地域に貢献できるような取組を推進することを目的として実施。指定された市内の施設でのボランティア活動でポイントが貯まり、そのポイントに応じた交付金を受けれる取り組み。	①登録機関		51機関	51機関		<ul style="list-style-type: none"> ・辞退1件(デイサービスまほろばの郷Ⅳ)事業所休止のため ・新規1件(バオバブ保育園) ・下半期も月1回の説明会を継続 (昨年度説明会参加者数30人登録者数27人/今年度9月末までの参加者数14人登録者数11人) 	500人	
			②新規登録者数		48人	79人				
③登録者数			450人	449人	414人					
うんどう教室地域指導員養成	うんどう教室の運営、指導にあたるうんどう教室地域指導員の養成を行う。	①新規養成者数	8人	4人	--		<ul style="list-style-type: none"> ・隔年で地域指導員養成講座を実施 	--		
		②累計養成者数	28人	28人	28人			32人		
介護予防リーダー養成	地域での介護予防活動を支援する介護予防リーダーを養成し、地域における介護予防事業を推進することを目的として実施。介護予防と老年学、介護予防に必要な運動学などの全13回の講座を開催	①新規養成者数	20人	24人	22人			20人		
		②累計養成者数	131人	135人	111人					
地域リハビリテーション活動支援事業	住民運営の通いの場(サロン)で、リハビリテーション専門職により介護予防に関する知識の習得・筋力維持のための体操等を実施し、参加者の状態に応じた指導・助言を行う。	①派遣回数(サロンおよび自主グループ)	50回	4回	15回		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでサロンとして活動していたグループが近トレへ移行し、サロンへのリハ職派遣を利用せずとも支援を受けることが可能となった。 ・自主グループへの周知が不十分と考えられる。 ・近トレ12ヶ月支援を終了している団体は、9月末時点で18団体うち、派遣申込団体は3団体 	40回		
		②のべ参加者数(サロンおよび自主グループ)	なし	65人	195人			--		
近所de元気アップトレーニング(近トレ)	体操をツールに住民運営の通いの場として、人と人とのつながりを通じて、地域の支え合い活動に発展していくような地域づくりを推進する。地域への広報や立ち上げ・継続支援は第2層生活支援コーディネーターや地域包括支援センターとともに実施する。 ※生活支援体制整備事業として実施し地域での拡充を目指す。	①派遣回数(近トレ)	92回	37回	16回		<ul style="list-style-type: none"> ・参加者実数は、平均参加者人数であり、詳細な実数は未把握 ・36団体中サロン登録しており、かつ報告書提出済みの団体の数のみ計上(27団体) ・上半期での新規立ち上がりの近トレ団体は9団体であり、支援が必要な団体数が少ない。 ・下半期に近トレグループの少ない地域を中心にプレゼンテーションの実施を検討中 	72回		
		②箇所数	40箇所	36箇所	27箇所			55箇所		
		③実施回数	--	561回	792回			--		
		④のべ参加者数(近トレ)	--	6,183人	9,166人			--		
介護予防・生活支援サービス	元気塾	①利用者実数	170人	24人	119人		<ul style="list-style-type: none"> ・1期(4~7月)卒業者分のデータ ・実数の24人の内3人(12.5%)が利用更新、4人(16.7%)が途中退所者である。 ・退所理由： 引越による精神的不安 筋肉痛による疼痛 体調不良による入院 夫の看病のため ・今年度、市民向け体験会と医療機関向けに事業説明を実施している。 ・体験会アンケートの結果、周知不足が明確となった。 	170人		
		②利用者のべ人数	--	513人	2,861人			--		
		③個別の目標達成割合	8割	54%	85%			8割		
		④地域活動など維持・向上のための活動への提案	7割	52%	78%			7割		
		⑤5m最大歩行速度レベルの維持・向上	8割	58%	82%			8割		
		⑥主観的健康観の維持・改善割合	8割	59%	80%			8割		
		⑦基本チェックリスト25項目計改善	8割	71%	85%			8割		
住民主体による訪問型サービス	一般市民が担い手となり、日常生活に必要な家事等について利用者の状態等を踏まえながら生活援助等の支援を利用者と共に行うことにより、その利用者が可能な限り居宅において生活機能を維持または向上することを旨とする。	①利用件数	4,104件	1,108件	974件		<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度上半期新規利用者実数は24人 ・住民主体の活動についての周知や理解が十分でなく依頼につながりにくい。 ・地域によっては担い手がいなかった地域もあり利用につながらないこともある。 ・多摩市生活サポーター養成講座事前説明会を8月に実施し21人が参加した。うち、多摩市生活サポーター養成講座の参加者は5人(全体参加者数31人) ・12月には、フォローアップ研修会を実施予定している。 	4,716件		
		②利用者実数		75人	56人					
		③利用者のべ人数	延べ1,026人	延べ333人	延べ272人			延べ1,332人		
介護予防ケアマネジメント	介護予防・生活支援サービス事業の実施状況を把握する。	介護予防ケアマネジメント実施件数	--	2,970件	6,629件					